NIE実践報告

1．タイトル：国際理解教育の一環として展開した調べ･発表学習

2．学校名

埼玉県立朝霞高等学校　全日制

3．実践者名（代表者名）

新井 浩

4．学年

１年次

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代社会/総合学習　　320名

6．単元（本時の学習課題）名

国際化の時代

7．目標(狙い)

海外の政治・経済・文化事情を学ぶ。
メディアリテラシー、コミュニケーション能力を育成する。

8．評価の視点

当該地域の政治・経済・文化事情を理解できたか。
メディアリテラシー、コミュニケーション能力がついたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

日本の大学で学ぶ留学生との交流会の事前学習。4コマ

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

＊　新聞は毎朝各クラスに配布され、休み時間などを使って生徒は閲読。それだけではなかなか活用されないので、日ごとに当番を割り振り、必要な記事を切り抜き要旨をまとめ提出させる課題を並行して実施。

１時限目　交流する留学生の母国（地域）に関する新聞記事の収集・交換
（新聞記事の切り抜き、まとめはすでに指導してある）
２時限目　前時の継続。グループごとにテーマを設定、まとめ作業
（図書室を利用し書籍なども活用。テーマについてもあらかじめアドバイスをし、グルメ情報などに偏らないように留意する）
３時限目　まとめ（模造紙に）。その際、図など視覚に訴える工夫や発表の際の工夫を検討させる
（フローチャート、ツリーマップ、ベン図など）
４時限目　プレゼンテーション。評価（１位になったグループは、交流会当日、留学生の前でプレゼン）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「授業でＮＩＥをやることによって、あまり新聞を読まなかったのが読むようになった」「時事問題に関心を持てるようになった。新聞を読む機会をもっと増やしたいと思う」「班での発表では、班員全員と協力して内容をまとめることができたし、新聞も以前より読む機会が増えてよかったと思う」

12．成果と課題

[成果]①大方の生徒にとって新聞を読むきっかけになった（実践前はクラスの3分の2がほとんど新聞を閲読していなかったが、実践後は「毎日読む」「ときどき読む」で6割を占めるようになった）。また新聞を読むことを通じて社会に関心を持てるようになった。②グループ学習、発表学習が好評だった。[課題]小中学校でＮＩＥを経験している生徒と経験していない生徒がいる。今後は、学習指導要領でとりあげられたこともあり、経験してくる生徒が増えることが予想される。そうした場合、発達段階に応じた取り組みの工夫が求められるようになる（現時点では、ホワイトボードを活用したマインドマップをグループで取り組ませてみたい）。